

「広島県 あいサポート運動」連携企画  
「広島国際大学バリアフリー映画祭」を開催  
11月30日、広島県立美術館で



↑ 昨年度開催した映画祭にも、多くの皆様にお楽しみいただきました。

**障がいのある人もない人も、小さな子ども連れの人も、  
みんなで楽しむ映画祭を企画しました。**

障がい者支援を進める広島県「あいサポート団体」に認定されている広島国際大学（秋山實利学長）では、来る11月30日、広島県立美術館で「バリアフリー映画祭」（入場無料）を開催します。

この映画祭では、すべての作品をバリアフリー上映します。バリアフリー上映とは、通常の映画に日本語字幕と音声ガイドを付加して上映するもので、視覚や聴覚に障がいのある人もない人も、小さな子ども連れの人もおなじ時と場所を共有しながら、いっしょに映画を楽しむことができます。今回上映する作品の一部では、バリアフリー化の作業に本学学生も参加しています。

この映画祭のバリアフリーへの取り組みは、映画のバリアフリー上映だけではありません。さまざまな障壁（バリア）を取り除き（フリー）、いろいろな立場の人が、お互いを理解しあって、楽しみを共有する機会をもつことを目的としています。

障がいは人によってさまざまであり、できることとできないことも、ひとりひとり違います。それを特別なことと思わずに、いろいろな人がいる、という理解のもとに、おなじ場所でおなじ映画を楽しむことは、心のバリアフリーを進めることにつながります。

**小さな子どもも一緒に楽しめる『ママパパタイム』を設定**

自分にとっては必要なかったり、邪魔なものでも、見方を変えれば違う立場の人を理解する助けにもなります。この映画祭では音声ガイドをイヤホンではなく会場全体に流し、子どもを託児所に預けるのではなく、いっしょに入場してもらいます。さまざまな壁を取り除くバリアフリー、分断ではなく、融合による共生の道をさぐる試みです。

その取り組みのひとつとして、一部の上映作品では普段映画を観に行くことが難しい、小さな子ども連れの方にも子どもといっしょに入場していただける、『ママパパタイム』を設定しています。ママパパタイムは会場にマット席を設け、子どもを膝にのせるなど、寄り添って気兼ねなく映画を鑑賞できるようにする試みです。子どもが泣いたり、ぐずったりしても退席するなど気を遣う必要ありません。

（次頁に続く）

## ダマー映画祭で中国リージョン賞受賞の本学青木研究室製作作品上映

上映する作品は、溝渕雅幸監督の『いのちがいちばん輝く日』、今村彩子監督の『珈琲とエンピツ』、エリック・トレダノ監督の『最強のふたり』の3本と、特別上映作品、青木研監督（本学心理科学部准教授）の短編映画『赤とんぼ』です。『最強のふたり』はママパパタイムでの上映となります。『珈琲とエンピツ』の音声ガイドは本学学生が読み上げます（上映時に読み上げる「活弁」も検討中）。『赤とんぼ』は本学心理科学部の青木研究室が製作した短編映画で、ダマー映画祭inヒロシマ 2012 で中国リージョン賞を受賞した作品です。学生の手によりバリアフリー化され上映されます。

## 映画出演者による講演、青木研准教授(監督)と学生によるトークショー

「珈琲とエンピツ」上映後、出演の太田辰朗氏をゲストとしてお招きし、さまざまなハンデを乗り越えてサーフショップを開く原動力になったサーフィンやハワイの魅力、ろう者と聴者の言葉を越えたコミュニケーションなどについて講演いただきます。また、特別上映「赤とんぼ」の監督である本学青木研准教授と本学学生によるトークショーを行います。トークショーでは、一つの作品をバリアフリー化するにあたり、苦労したこと、やりがいなども含め、新しい福祉のあり方や様々なバリアフリーについてトークを繰り広げます。

## 司会進行・サポートは学生ボランティア

映画祭の司会進行や身障者サポートなどは、広島国際大学の学生ボランティアが行います。学生たちがボランティアとして参加することで、実際に障がいのある人とふれあい、イベントを共有する体験をします。この体験機会は将来の専門職業人としての人間性を育む場にもなります。

**※報道各社の皆様には、事前告知の機会がありましたら取り上げていただき、また当日もぜひ取材におこしいただきたくよろしくお願いいたします。**

1. 開催日時：2013年11月30日（土）9:30～17:00
2. 場 所：広島県立美術館 講堂（地下1階）
3. 上映作品：

①「いのちがいちばん輝く日」	上映時間：10:00～11:35
②「珈琲とエンピツ」	上映時間：12:30～13:40
	講 演：13:40～14:05
特別上映「赤とんぼ」	トークショー：14:05～14:15
	上映時間：14:15～14:25
③「最強のふたり」	上映時間：15:00～17:00

※ママパパタイム（未就学児の同伴可）での上映。
4. 申込方法：住所・氏名・連絡先・メールアドレス・鑑賞人数・作品等を明記の上往復はがき、電話、FAX、E-mail のいずれかで申込み  
※入場無料。各作品申込み先着 200 名
5. 問合せ先：広島国際大学地域連携センター バリアフリー映画祭係  
〒739-2695 広島県東広島市黒瀬学園台555-36  
TEL：0823-69-6034 FAX：0823-70-4931  
E-mail：shagaku@ofc.hirokoku-u.ac.jp  
詳しくは下記ホームページをご覧ください。

[http://www.hirokoku-u.ac.jp/cooperation/barrier\\_free.html](http://www.hirokoku-u.ac.jp/cooperation/barrier_free.html)

### ■内容に関するお問い合わせ先

広島国際大学 地域連携センター（沖川） TEL：0823-69-6034

### ■取材の申し込み先・本件発信部署

広島国際大学 企画課（坂井） TEL：0823-70-4922

添付文書 案内チラシ 発信枚数：本書含め4枚



「広島国際大学 あいサポート運動」連携企画

# 広島国際大学 バリアフリー映画祭

いのちのそばに。ひととともに。

日本語字幕

音声ガイド

ママパパタイム

2013

11/30

SAT

9:30 ▶ 17:00

広島県立美術館 講堂(B1F)

入場  
無料

事前申込要  
各作品先着

200名様

バリアフリーってなんだろう？バリアとは分け隔てるもの。  
だから、障がいのある人もない人も、小さな子ども連れの人も、  
だれもが分け隔てなく楽しめるバリアフリー映画祭です。



©2011 SPLENDIDO / GAUMONT / TFI FILMS PRODUCTION / TEN FILMS / CHAOCORP

UNTOUCHABLE

## 最強のふたり



笑いも涙が止まらない。  
映画史を塗り替えた  
驚異の大ヒット感動実話。

死によって  
受け継がれる  
いのちがある。

輝く日  
いちばん  
のちが

## 珈琲とエッセイ

紙の上をすべるエンビツの筆跡から生まれる  
穏やかで優しいコミュニケーションがある。



特別上映

## 赤とんぼ

瀬戸内の島で祖父と二人で暮らす少女の成長物語。タマ映画祭 in ロシマ2012「中国リージョン賞」受賞作品。心理学部 青木研究室制作。学生たちの手によるバリアフリー化！



本映画祭では、「日本語字幕」と「音声ガイド」付きで上映します。



●日本語字幕とは… 台詞や効果音などを「文字」にして画面上に表示するのが字幕です。耳の不自由な方でも作品を楽しんでいただくことができます。



●音声ガイドとは… 映像の中の状況や起こる出来事を、台詞などの合間に、言葉で分かりやすく説明するナレーションです。目の不自由な方でも作品を楽しんでいただくことができます。



●映画「最強のふたり」では、未就学の小さなお子さまと一緒に楽しめる「ママパパタイム」を実施しています。

※小さなお子さまも入場されます。泣いたり、ぐずったりすることがあります。予めご了承ください。

お申込み方法

郵便番号・住所・氏名・連絡先・メールアドレス・人数・希望鑑賞作品等を明記の上、往復ハガキ、電話、FAXまたはE-mailのいずれかでお申し込みください。※参加申込完了者には別途「参加申込完了通知」をお送りします。

お問い合わせ

広島国際大学地域連携センター バリアフリー映画祭係  
〒739-2695 広島県東広島市黒瀬学園台 555-36  
TEL: 0823-69-6034(受付時間は 9:00~17:00)  
FAX: 0823-70-4931 E-mail: shagaku@ofc.hirokoku-u.ac.jp  
http://www.hirokoku-u.ac.jp/cooperation/barrier\_free



広島国際大学

# バリアフリー映画祭

## 2013 11/30 (SAT)

### 9:30 ▶ 17:00

広島県立美術館 講堂(B1F)



日本語字幕、音声ガイド付き

#### ●日本語字幕とは…

台詞や効果音などを「文字」にして画面上に表示するのが字幕です。

耳の不自由な方でも作品を楽しんでいただくことができます。

#### ●音声ガイドとは…

映像の中の状況や起こる出来事を、台詞などの合間に、言葉で分かりやすく説明するナレーションです。目の不自由な方でも作品を楽しんでいただくことができます。

上映スケジュール		
①いのちが いちばん輝く日	開場	9:30
	上映	10:00~11:35
②珈琲とエンピツ	開場	12:10
	上映	12:30~13:40
	講演	13:40~14:05
特別上映 赤とんぼ	トークショー	14:05~14:15
	上映	14:15~14:25
③最強のふたり	開場	14:40
	上映	15:00~17:00

※「珈琲とエンピツ」と「赤とんぼ」の間に休憩時間はございません。



**アクセス** 市内路面電車・バス「縮景園前(しゅっけいえんまえ)」下車約20m  
広島駅より約1km、広島城より約400m



## 上映作品

入場無料

各作品先着**200**名様(事前申込要)



### 『いのちがいちばん輝く日』

(製作年度: 2012年・日本)

監督 清淵雅幸

出演 細井 順 ほか

人生の最期を迎えるがん患者のための医療施設、ホスピス「希望館」に2011年12月から40日間密着し、終末医療に取り組む医師、スタッフや患者家族の姿を追ったドキュメンタリー。“生命”が終わりを迎えた後も、“いのち”が人から人へ受け継がれてゆく様子を克明に記録した映像は、初のホスピス施設の日常を描いた作品として大きな注目を集めている。



### 『珈琲とエンピツ』

(製作年度: 2011年・日本)

監督 今村彩子

出演 太田辰郎 ほか

静岡県湖西市にあるサーフショップ&ハワイアン雑貨店の店長で、ろう者の太田辰郎さんの姿を追ったドキュメンタリー。訪れる客にはコーヒーをふるまい、紙と鉛筆で言葉を交わす。どんな時も笑顔を絶やさず、聴者に心を開いてコミュニケーションを取る。自身もろう者である今村彩子監督はそんな彼に引きつけられ、自らメガホンを取りナレーションも担当した。



©2011 SPLENDIDO / GAUMONT / TFI FILMS PRODUCTION / TEN FILMS / CHAOCORP

### 『最強のふたり』 (製作年度: 2011年・フランス)

監督/脚本 エリック・トレダノ/オリヴィエ・ナカシュ

出演 フランソワ・クリュゼ/オマール・シ

事故で全身麻痺となり、車いす生活を送る富豪と、囚らずして介護役に抜擢されたスラム出身の黒人青年。共通点はゼロ。高級住宅地とスラム、ショパンとクール&ザ・ギャング、超高級スーツとスウェット、洗練された会話と下ネタ、車いすとソウル・ミュージックに乗ってパンプする身体。二人の世界は衝突し続けるが、やがて互いを受け入れ、とんでもなくユーモアに富んだ最強の友情が生まれていく。



**トークショー** 14:05~14:15 (10分)

「赤とんぼ」上映前、監督の青木 研准教授と学生によるトークショーを行います。



**講演** 13:40~14:05 (25分)

「珈琲とエンピツ」上映後、ご出演の太田辰郎さんをゲストとしてお招きしています。



映画「最強のふたり」では、未就学の小さなお子さまと一緒に楽しめる「ママ/パパタイム」を実施しています。

※小さなお子さまも入場されます。泣いたり、ぐずったりすることがあります。予めご了承ください。

### お問い合わせ

広島国際大学地域連携センター  
バリアフリー映画祭係

〒739-2695 広島県東広島市黒瀬学園台 555-36  
TEL: 0823-69-6034(受付時間は 9:00~17:00)  
FAX: 0823-70-4931  
E-mail: shagaku@ofc.hirokoku-u.ac.jp  
http://www.hirokoku-u.ac.jp/cooperation/barrier\_free

主催/広島国際大学 協力/株式会社カンパス・株式会社広テレイベント

後援/ 広島県、広島市、広島県教育委員会、社団法人広島県医師会、公益社団法人広島県介護福祉士会、公益社団法人広島県看護協会、広島県言語聴覚士会、一般社団法人広島県作業療法士会、公益社団法人広島県社会福祉士会、公益社団法人広島県理学療法士会、社会福祉法人広島県視覚障害者団体連合会、広島県身体障害者施設協議会、社会福祉法人広島県社会福祉協議会、広島県精神保健福祉士協会、広島県知的障害者福祉協会、広島県聴覚障害者団体連合会、社会福祉法人広島県福祉事業団、社会福祉法人広島県社会福祉協議会、社会福祉法人交響、一般社団法人広島県身体障害者団体連合会、一般社団法人広島ろうお友連盟、特定非営利活動法人広島自閉症協会、日本生活支援工学会、日本福祉用具・生活支援用具協会、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、FM東広島89.7MHz、広島エフエム放送

※申請中